



ハイライト:

- 学園長・各校長より卒業生へのメッセージ
- 幼稚園を新築
- 在学時の思い出
- 小学校同窓会長が就任

「まつかぜ」の命名は、初代学園長村島帰之先生の著書「松風のひとりごと」に因みます。

校友会の皆様へ

平和学園・アレセイア湘南校友会 会長 倉澤条太

平和学園・アレセイア湘南の卒業生の皆様、今年は未曾有の世情の中、いかにお過ごしでしょうか？学園も同窓会・校友会も例年の行事、活動の自粛を余儀なくされ、正直なところ、四苦八苦しております。その中、これまで小学校同窓会会報として発行してきました「まつかぜ」を、今年から校友会会報として、平和学園及びアレセイア湘南の全卒業生に向けて発行することといたしました。これにより、学園と同窓会・校友会活動へのご理解とご支援がより一層深まることを望んでおります。

校友会は2001年4月に「建学の精神と理念のもとに学園全体の支援をする」ことを目的とし発足しました。毎年、賀川村島記念講堂で5月のジャズコンサート、12月のクリスマス・チャリティー・パイプオルガンコンサートを同窓会と共に、学園の協力のもと開催しています。どちらも長年の実績が認められ、現在茅ヶ崎市の後援も得られ茅ヶ崎の音楽文化の一つとして大

きな反響を頂いております。今年は新型コロナウイルスの影響で、残念ですが開催を見合わせています。

アレセイア湘南発足20周年を迎えましたが、記念同窓会の構想も残念ながらコロナ禍で中断しています。来年には校友会も20周年を迎えますので、何とか記念同窓会を開催できるよう、学園と協議して進められれば、と思っています。

これからも校友会は各団体と交流を持ち、学園の発展に協力してまいります。今年は幼稚園が建て替えられました。平和学園アレセイア湘南の進める一貫教育体制。2019年6月に平和学園・アレセイア湘南校友会が開設しましたホームページを通じて、幼小中高、平和学園アレセイア湘南に在籍された方、卒業生に交流の場を提供し自由に参加できる校友会を目指してまいります。

今後とも皆様の温かいご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

『まつかぜ』とは？

1981（昭和56）年9月1日付けで平和学園小学校同窓会連絡誌「まつかぜ」1号が発行されました。小学校職員の編集になるもので、平和学園草創期からの先生方がまだ勤務されていた時代です。その後1990（平成2）年まで、毎年9月に第10号まで発行されました。このシリーズを第1期としました。

1991年から、当時一体となって活動していた小学校同窓会と中学校同窓会の会報として、1992年9月、1994年10月、1996年8月に3報が発刊されましたが、1996年10月の平和学園創立50周年記念同窓会開催以後しばらく途絶えていました。このシリーズを第2期としました。

小学校同窓会会長が大石茂生氏（小50中53）から山口洋一郎氏（小59）に代わって、2003（平成15）年4月20日付けで小・中同窓会会報「まつかぜ」新1号として再刊

され、早くも2003年9月には新2号が出ました。その後毎年発行を続け、中学校同窓会が分離した2008年（新7号）からは小学校同窓会会報として発行し、11号からは“新”を外して、2019（令和1）年に第18号を発行しました。このシリーズを第3期としました。

そして今年、平和学園とアレセイア湘南全卒業生に向けての校友会会報として第4期のシリーズを始めることになりました。

これまで、「まつかぜ」は小学校同窓会が住所を把握している会員宛に郵送してきました。本号はこれまで通りの郵送と、卒業生の手、目に触れる機会を探って、できるだけ広く配布するつもりです。校友会ホームページにも掲載します。郵送を希望される方は校友会事務局宛にご連絡ください。

目次:

校友会の皆様へ	1
まつかぜとは？	1
藤本学園長から	2
山田校長から	3
佐藤校長から	4
在学時の思い出	6
小学校同窓会会長就任	6
幼稚園舎新築	7

学校法人平和学園 学園長 藤本朝巳



授業にて

卒業生への メッセージ

この春に学園長に就任致しました藤本朝巳です。私は1982～1994年（12年間）、平和学園高校（現在のアレセイア湘南）に英語教師として勤めていました。その後、しばらく大学院での学びの時を経て、同じキリスト教主義のフェリス女学院大学文学部英文科に20年間奉職し、この度、古巣の平和学園に戻ってきました。26年ぶりですが学園の建学の精神は変わっていません。先達の教えを引継ぎ、経験豊かな教職員、新しい時代に生きる若い教職員と共に、学園の教育理念を尊重して励んでいきたいと思っています。

就任早々に教職員に語ったことは、聖書に基づき、『互いに仕え合う』ということでした。「新約聖書」エフェソの信徒への手紙、5章21節に「キリストに対する畏れをもって、互いに仕え合いなさい」と記されています。この場合の「仕える」とは、一方が主で、他方はそれに従うという意味ではありません。共に神の前に立ち、同じ方向を向いて一緒に歩いていく、という意味です。キリスト教精神の下の教育機関では、神の恵みのもと、神への畏れをもって互いに仕え合うことが求められているのです。

さて、「緊急事態宣言」後、生命と健康を守るため、子ども園の一部を除いて、一斉休校にせざるを得なくなりました。園児・児童・生徒のみなさんには自宅待機・学習をお願いし、教職員も交代で在宅勤務とし、情報収集しながら万全の対策を練ってやってきました。この間に全学でon line授業の態勢を整えました。現在は中高の全教室にプロジェクター、スクリーンなどの設備が完備し、小学校にも全児童へタブレットを配布します。今後も情報教育環境を整え、しっかり力を入れていきたいと思っています。この間のご家庭のご理解、ご協力感謝しています。

学園施設としては、大きな幼稚園舎が完成しました。現在は広い園舎でお子さんたちが楽しくすごしています。一方、小学校には工事期間中、運動場がない状態でしたが、旧幼稚園舎及びグラウンド跡に広い運動場が完成しました。自動スプリンク

ラー、周囲には高いネットも完備し、大きな運動用具倉庫、放送設備もそろえました。まもなく鉄棒やバスケット、サッカーのゴールなども設置されます。二学期からは広々とした運動場で、全学の子どもたちに伸び伸びと使って欲しいと願っています。

短い夏休みでしたが、8月末に学園研修会を開催しました。今年度のテーマは「学園の将来計画」でした。一つは「学園の連携を強め、深めていくために」「〔幼〕から〔小〕へ、〔小〕から〔中〕へ、〔中〕から〔高〕へ進みたくするような、夢のある取り組みを考える」とし、もう一つは、「コロナ後の社会や教育の変化を、学園の教育にどのように取り入れ、生かしていくか」でした。それに先立ち、学園では〈全学的将来計画委員会〉を立ち上げ、学園の将来について話し合ってきました。二学期からはさらに小部会を設置し、具体的に進めていく予定です。特に「グローバル教育」と「情報教育」には力を入れていく予定です。

現代は想像もしないことが頻繁に起こります。毎年、大きな自然災害が起こります。人類はコロナのような未曾有の災いとも、共生していかなばならぬ時代になったのです。今後はafter コロナ対策を講じていく所存です。コロナの終息に、また経済的な回復には数年を要するといわれていますが、情報を収集し、専門家のお知恵も借りながら、全学の教育に邁進していきたいと願っています。じんかん

中国に「人間万事塞翁が馬」という故事があります。昔、中国に塞翁という老人がいて、ある日、馬が逃げ出します。近所の人が気の毒に思って慰めると、老人は平然と「これが幸福のもとになるかもしれん」と答えます。しばらくすると逃げた馬が、名馬をたくさん引き連れて戻ってきました。近所の人から祝いの言葉をもらうと、塞翁は「これが禍のもとになるかもしれん」と答えます。すると、馬に乗っていた塞翁の息子が落馬して骨折し、足に障害が残ってしまいます。さぞや老人が嘆き悲しんでいるだろうと、近所の人が見舞いに行くと、塞翁は「これが幸福のもとになるか

もしれん」と答えます。さて、その翌年、隣国との戦争が始まりました。国の若者は戦闘に駆り出され、ほとんど亡くなってしまうのですが、息子は足の障害のため兵役を免れ、戦死せずに済みました。人生における幸・不幸は予測できないことをあらわす故事です。

私たちはマイナスの状態をプラスに切り替えながら生きていくべきです。失敗

や落ち込みから立ち直っていく逞しさ、厳しい人生に対する底力といえますか、塞翁の生き方から学ぶべきことがあると思います。平和学園では、成功しても油断せず、失敗しても落ち込まず、未来に向けて進んでいきたいと願っています。卒業生の方々のご理解ご支援を、引き続き、どうぞよろしくお願い申し上げます。

アレセア湘南中学高等学校 校長 山田 信幸

私は、キリスト教主義学校を求めた就職活動を経て、学校法人平和学園高等学校に採用が決まりました。

最初の2年間は、平和学園小学校の職員室にも席がありました。私の教科は、保健体育です。小学校4年生の体育の後に、高校3年生の体育の授業を行いますと、年齢差もあり、指導のやり方が声掛けひとつでも違うことに戸惑うこともありました。それでも児童も生徒も明るく生き生きと成長する過程に携われたことは感謝すべきことでした。

その頃から35年程過ぎた頃の出来事です。あるパン屋さんで販売の方から「山田先生ですよねえ」と声を掛けられました。

「はい、そうです。」と答えると、「先生が平和学園に勤められた時に、実はわたし、平和学園小学校の5年生でした。覚えていらっしゃるでしょうか」と尋ねられました。確かにその方の顔つきや声に当時の面影がしっかりと残っていました。思いがけない再会に、その時代に手作りのサッカーゴールで休み時間にグラウンドで遊んだことや理科の実験で飛ばした熱気球のことなどを、走馬灯のように思い出すことができました。

また、平和学園幼稚園には、我が子がお世話になりました。幼少期に伸び伸びと遊び、友達と交わることにより、心身ともに成長させていただきました。その頃の園児が、卒園して10年後にアレセア湘南中学校の一期生として入学してきました。彼らとは総合学習でのゴルフや部活などで数々の経験ができました。

私が教師として学ばせていただいたことの中で印象深いのは担任だった時代です。担任としてクラスの生徒と関わったのは、

朝と帰りのホームルームです。「おはよう」という挨拶から始まり、帰りのホームルームで「さようなら」と、一日に最低2回顔を合わせることができました。ほんの短い時間でしたが、担任としては、「私たち一人ひとは神の愛によって生かされているということ」を生徒たちに伝える場として大切にしてきました。クラスの生徒たちは十人十色、はっきりものが言える子、言えない子、それらの違う色が交じり合っただけでクラスというキャンパスにどんな作品が描かれるのかが楽しみでした。クラスの生徒一人ひとは掛け替えのない存在ですから、個々の人格全てを受け入れつつ成長のサポートをしてきました。

ところで、私は大人になってからの人生の大半を平和学園で過ごしています。そこで学び、最も大切にしていることは、「平和は愛があってこそ実現するもの」ということです。74年前、平和学園はこのことばに表される精神に基づいて創立されました。

「神の愛を知る人を育てる学校」つまり、キリスト教主義学校です。神の愛は平和の実現のために欠かせません。ですから、「神の愛を知り、私たちがお互いを大切にしよう」と伝えることが学園の使命ではないかと思っています。

さて、卒業生の皆さんに「神の愛」が伝わっているのでしょうか。神の愛を知った皆さんはお互いを大切にしながら暮らしていますか。学園が伝えたことが現在の生活の中に少しでも生かされていれば、と願っています。

これからも学園をサポートしていただきたくよろしくお願い申し上げます。



中高校庭にて

平和学園にと共に

40年余り

平和学園小学校 校長 佐藤 陽明



小学校校庭にて

多彩な職業経験を

活かし教員に

皆さんが卒業した平和学園はご存知の通り、キリスト教伝道や宣教の使命があるミッションスクールとは異なりキリスト教の教えを基に、教育を実践する学校です。

伝道師や宣教師はおらず、キリスト教の宗教団体や各宗派が開いた学校ではないので平和学園は伝道の使命はありません。他のミッションスクールは戦前、キリスト教を伝導するため日本に不足していた女子教育と医療に力を入れて学校と病院を開き伝道活動をしました。戦後から日本は男女平等となり医療も教育も平等に誰でも受けられるようになりました。そこで戦後からは、キリスト教の愛を持って奉仕する医療と教育として受け継がれて現在に至っています。

10年前、平和学園小学校に奉職して真っ先に驚いたのが毎日、朝8時からある職員礼拝でした。特筆すべきは毎週火曜日、幼稚園・小学校・アレセア湘南中学高校の全教職員が集まり行われる礼拝が行われている事でした。他の学校にはない全教職員礼拝です。礼拝は神の愛、イエスの愛が、集まった教職員のうちにとどまり、初めて礼拝が成立していることに気がきました。全教職員が集い、無条件の愛を理想とした教育を園児・児童・生徒に行うことを礼拝で確認し、心を一つにして1日を始める意味のある礼拝です。イエスの愛を受け、私財を投じ、平和学園を創立した2人のキリスト教信者である賀川豊彦先生・村島帰之先生が建てたこの平和学園は礼拝を通してイエスキリストの愛に駆り立てられ、愛をもって教職員が教育活動を行い、74年間継続しています。

平和学園の教育活動は、才能（タラント）を神から与えられている教職員ひとり一人が、平等にチームとして才能を充分に発揮する場所です。神さまから賜物を与えられている子どもたちを預かり、良い教育環境をチームとして作り上げ、子どもたちを無条件の愛（アガペー）をもって教育する役割と使命が教職員にあります。

イエスの愛を持って教育を行うには私たちの意志だけでは困難な道です。理想に一步でも現実近づけるため、神に祈りなが

ら教職員の知恵を結集し、保護者の支援と同窓会の協力を受けながら、夢と希望を持って前進しています。

そして今回の新型コロナウイルス対応で、困難な状況からの脱出を行う時、知識を知恵に変えることと共に歴史から学ぶことが必要となります。旧約聖書には、ユダヤ教にはユダヤ人の知恵と、人間が考えられるあらゆる善悪の行為が書かれています。神さまから与えられた律法を守る人間の生き方が示されています。新約聖書にあるイエスの教えで、無条件の愛である隣人愛が示され、私たち人間の生き方の理想の生き方がイエスの生涯として描かれ、理想を求める人の生きる道が示されています。

今回のコロナウィルスの約3か月に及ぶ休校期間で、子どもたちと一緒に生きたい。子どもに教えたい。共に生きたい教職員の強い意志があることを教職員が再確認できました。また、新型コロナウイルスに対応する先生方の苦悩と困惑と子供を守るための努力が行動として現れてきました。自分たちが今出来ることを積極的に行動することが当然であると捉え、実行し、更に、出来ないことをチームで克服し、出来るようにすることも、大事なことで、児童・生徒に示すことも教育の重要項目の一つです。

新型コロナウイルス対策で経済活動の停滞、産業の衰退、企業倒産、貿易の停滞など様々な問題が起きています。歴史から学ぶと、知恵を持つものは、新しい時代に適応し、人々が必要とされる仕事に就き、創造力のある者は新しい企業さらには産業をつくってきた歴史があります。さらに日本では215年間、鎖国で生き残った歴史を持つただけではなく、独自の文化を生み出した歴史を持っています。その上、鎖国を乗り越えたあとの開国での政変にも、西欧文化にも適応し、経済的にも欧米諸国に追いつき、追い越した実績もあります。そのDNAは私たちに受け継がれています。

平和学園の歴史的存在理由は、平和学園の関係者が、平和を実現する人として生き抜く必然があり、平和を求めて行動する使

命があります。平和学園は神から与えられた賜物を持っている子供たちを預かり、関わることで、教えることさらに、信頼関係を築くことを喜びとする教育集団が存在しています。さらに、平和学園の卒業生が社会で人のために生きる実践者である集団が同窓会に存在します。私たち平和学園につながっている同窓会の皆様と平和学園教職員

ならびに保護者は、『せめてあなた方はすべての人と平和に暮らさない。』（ローマの信徒への手紙 12章18節）を受けて、『せめて私たち平和学園につながる人々は、すべての人と平和に暮らさない。』を実現させて行きましょう。今後も同窓会の皆様が平和学園小学校の物心両面でのお支えを賜ります様お願い申し上げます。

クリスマスチャリティー・パイプオルガンコンサート

2019年12月7日(土)、平和学園賀川村島記念講堂で毎年恒例のクリスマスチャリティー・パイプオルガンコンサートが開催されました。

あいにく小雨が降り寒い一日となりましたが約500名の来場がありました。

このチャリティーコンサートは今年で34回目になります。オルガンには後藤香織氏、そしてバレエダンサーとして野村和夏子氏

をお迎えし、くるみ割り人形をはじめとする聖夜を彩る数々の楽曲で聴衆を魅了しました。

ご来場の皆様にはチャリティーにもたくさんご協力頂き、収益金を茅ヶ崎市内の児童養護学校へ寄付をさせて頂きました。

2020年の開催は残念ながら新型コロナウイルス感染状況を踏まえて中止となります。



小学校バザー

2019年11月2日(土)、平和学園小学校のバザーが開催されました。当日は多くのお客様にご来場いただきました。

小学校同窓会では毎年、出店の協力をしています。

小学校・中学校・高校の卒業生の皆様より多くの寄贈品を頂きありがとうございました。

販売した売上はPTAを通して子供たちの活動に寄付をします。



在学時の思い出

名井 敬子（旧姓木村：小54中57高60）



名井さんの近影

私が平和学園小学校に転校したのは、1953年です。実に67年も前のことです。

それ以前は 東京都府中市のマンモス校でしたので、あまりにも違いが多く、驚きの連続でした。

まず、一学年一クラスで、人数も少なく、教室も一クラスずつ離れておりました。砂地に置かれたすのこを渡り、行き来したのを覚えております。

その砂地には、夏になりますと撫子の花が咲き、その愛らしい花を見ながら学ぶという心安らかな日々でした。撫子は秋の七草の一つで、万葉集にも記されていることを知りました。とても好きになり、今でも

更に、皆で力を合わせ、松の切り株を掘り起こし、テニスコートを仕上げることも出来ました。運動会も全校生が一緒になり、春夏秋冬の生まれ月に分かれて競い合いました。

上級生の走り方に、憧れ感動したり、仮装



撫子の花を愛で 学んだ記憶



庭に咲かせております。

また、各学年の人数が少ないため、違う学年の方々と共に過ごす機会が、色々ありました。先ず、毎朝の礼拝では小中高生が一同に集まり、賛美歌を歌います。そして、聖書を読み、お祈りをしました。この事後に私の人生を穏やかにし、また思い悩むことにもなりましたが、忘れ難い思い出です。

行列でも盛り上がりました。

絵画の先生で、富士山をひたすら写生しておられた東門先生は、今でも懐かしく思い出されます。学園の敷地内にお住まいでいらしたこともあり、皆に気安く、沢山の絵を見せて下さいました。

このように、先生と生徒、下級生と上級生が隔たり無く学べたことを感謝しております。

この事は、後の人生における糧になりました。

卒業後、記念すべき賀川・村島記念講堂の献堂式で、“藤娘”を舞わせて頂きましたことは、望外の喜びでした。

現在は学園の部活で経験した卓球を、近所のクラブで楽しんでおります。また、自治会主催のサロンで、手話を指導しつつ、老化防止に努めております。

小学校同窓会会長就任

会長 神尾 元洋（小76）



この度小学校同窓会の会長に就任しました、神尾元洋（1976年卒）です。

在学時を思い出すと、多くの友達と遊んだこと、先生から叱られたこと、学校での行事やそこで過ごした様々な思い出がよみがえってきます。社会に出てしばらくすると、それらの思い出も過去の出来事として、学校の存在もいつしか遠い記憶となっていました。

10年ほど前に偶然卒業生の先輩方と知り合い声を掛けられ、校友会10周年記念の同

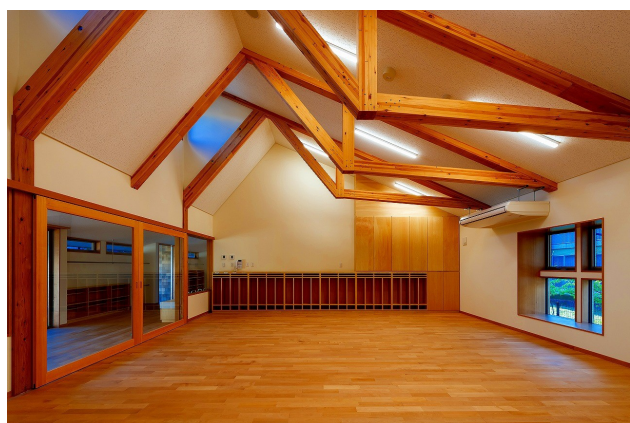
窓会の手伝いをしたのがきっかけでした。同窓会を通じて先生や子どもたちと関わり、その教育思想や先生方の教育に傾ける熱意は脈々と引き継がれていると感じています。

私たちを育ててくれた学校にあらためて感謝の念を覚えるとともに、卒業生の一人として微力ながら学校を応援していきたいと思っています。多くの卒業生が学び育んだ思い出の輪が、平和学園のさらなる発展につながることを祈っております。

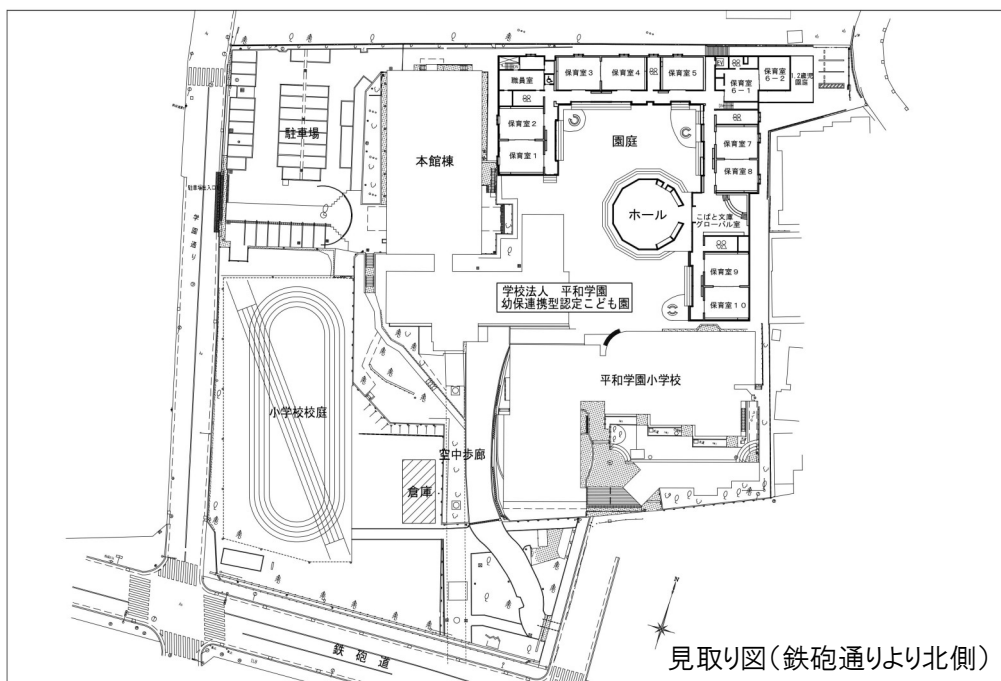
平和学園幼稚園認定こども園が建替えされました

今春、幼稚園の園舎が建替えされました。
 これまで小学校のグラウンドがあった場所に新築され、幼稚園があった場所が小学校のグラウンドとして生まれ変わりました。
 園舎は木の柔らかな温もりを感じるつくりとなっています。

遊戯室棟は十二使徒をイメージした12角形になっており、中心にはトップライトから明かりが差し込みます。
 園全体を子どもたちが走り回れるよう開口部が大きくとられ、園庭と一体となったつくりとなっています。



建築計画は株式会社洋建築企画（代表 山口洋一郎（小59））による設計デザインです。





平和学園アレセイア湘南

校友会



予定 JAZZ IN CONCERT IN SHONAN 2021

日時 来年2021年5月中旬（土）13:30開演

出演 グレース・マーヤ氏（ピアノ・ヴォーカル） 他

※新型コロナウイルスの感染状況により中止になる場合があります。

2019年度校友会決算書

収入の部		支出の部	
項目	金額	項目	金額
ジャズコンサート	764,000	ジャズコンサート	685,662
パイプオルガンコンサート	304,127	パイプオルガンコンサート	296,490
その他	6	ホームページ作成費	129,600
		事務費	15,000
小計	1,068,133	小計	1,126,752
前期繰越金	378,445	次期繰越金	319,826
合計	1,446,578	合計	1,446,578

人事異動

- 訃報
- ・飯野義子先生（元学園長・校長。2019/12/22就眠）
 - ・和田扶實子先生（小57中60高63）（旧姓：武信。元小学校教頭。1968－2005年在職。2020/5/22就眠。享年76歳）
 - ・楯岡昭通先生（1975－2005年在職。2020/2/11就眠。享年76歳）
 - ・黒田卓氏（元事務長）

平和学園アレセイア湘南校友会への連絡

メールアドレス： heiwigakuen@gmail.com

郵便： 253-0051 茅ヶ崎市富士見町5-2

平和学園内 平和学園アレセイア湘南校友会

電話： 0467-87-1662

校友会もしくは同窓会への連絡がある旨をお話頂ければ、折り返し電話を差し上げます。

校友会のお手伝いをして頂けるボランティアスタッフを募集しています！

維持会費納入のお願い

維持会費は同封の振込用紙をご利用して納入していただきますよう、お願いいたします。

1口 1,000円 何口でも結構です。

※卒業後10年間は免除となりますが作業発送の関係から全員に振込用紙を同封しています。

本年から下記校友会口座への維持会費納入を受け付けます。会費はホームページの維持・会報製作発送費等に使用させていただきます。

銀行振込 スルガ銀行 茅ヶ崎支店（普通）503511 平和学園・アレセイア湘南校友会